

道徳のまちづくりの指針決定

『笠松の心』大切に

町では、昨年12月に「道徳のまちづくり条例」を制定し、それに基づき「道徳のまち笠松委員会」をこれまでに4回行い、基本指針を策定しました。条例の目的である道徳的風土および人づくりを進めるために「町民の道徳心によるまちづくり」が強調されました。

大人も道徳心を大切に、地域で「笠松人の心」を育て合い、「道徳でまちづくり」を行っていくという発想は、全国的にもめずらしいことです。

道徳心として、「笠松人の心」①人と人とのつながりをつくる(もてなし合う)②自ら社会活動に参加する(知恵を出し合う)③自分も他人も尊重する(モラルやルールを大切に)…これらを磨き合い、「道徳的風土が感じられるまち」、「次世代を担う笠松人が育つまち」をつくっていくことが確認されました。今後は主旨に基づく具体的な取り組みがよいよが始まります。



熱心に道徳について話し合われる委員たち

広江町長も、「おもてなしの心を大切にしたい。笠松はすばらしい町だなどと思っていただけるようにしたい。住んでみたいと思える町にするために、行政も町民一人ひとりもお互いに認め合い、温かな心が通じ合う町にしていきたい。町が行っている『まちなか』などの事業ともからめながら、人づくり、町づくりを進めて行きたい」と熱く語られました。

余技作品展

町老人クラブ連合会

笠松町老人クラブ連合会主催の「老人余技作品展」が、5月27日から29日までの3日間福祉会館で開催されました。

会場には、日本画をはじめ写真・盆栽・ちぎり絵・手芸など約210点余りの力作が展示され、訪れる皆さんの目を楽しませました。



福祉会館を訪れ作品を観賞する皆さん

交通事故防止の宣言採択 交通安全婦人連絡協議会総会



宣言を読む西田さん

町交通安全婦人連絡協議会の総会が5月30日、役場で開催され、町婦人会、小・中学校PTAの皆さん約70人が出席し、事業報告と事業計画が承認された後、「交通事故に対する自覚と認識を深め、明るい家庭、住みよい町づくり」を目指す宣言が採択されました。

その後、岐阜羽鳥警察署の藤井交通課長より交通事故情勢のお話があり、交通事故防止の協力の呼びかけがありました。

叙位 叙勲

正六位 故 市橋 武雄さん

去る4月10日に永眠されました元町議会議員の故市橋武雄さん(下新町)が正六位を受章され、6月6日、広江町長からご家族に伝達されました。

市橋さんは、昭和31年4月に初当選以来11期44年の長きにわたり在職し、この間、議長、総務常任委員会委員長、監査委員の要職を歴任し、町行政・議会の円滑な運営に努めるとともに、町の産業の発展、教育、文化、福祉の向上に貢献されました。

こうした多年にわたる功績が認められ、平成12年11月に勲五等双光旭日章を受章、さらに今回の叙位の受章となりました。

従六位 瑞宝双光章 故 杉山 義則さん

去る4月13日に永眠されました元羽鳥郡広域連合消防長の故杉山義則さん(二見町)が従六位・瑞宝双光章を受章され、6月4日、羽鳥郡広域連合広江連合長(笠松町長)からご家族に伝達されました。

杉山さんは、昭和43年1月笠松町消防士に任命され、平成13年4月からは羽鳥郡消防事務組合消防長として平成18年3月に退職されるまで、長年にわたり地域住民の生命・身体および財産を守るため消防活動に尽力され、災害のない町づくりに大きく貢献されました。

こうした多年にわたる功績が認められ、今回の受章となりました。